

<健康・生活>

健康状態の維持や改善、基本的な生活習慣の習得、就学に向けての生活リズムの形成をおうちの方と一緒に考えます。トイレトレーニング、衣服の着脱、睡眠や食へのこだわり等の支援をします。又お手伝いや身近な大人との約束の大切さを理解できるように支援します。

<言語、コミュニケーション>

遊びの中で人と関わって楽しいよ、伝えるって大事だよと楽しく学べるよう工夫しています

- ・要求を表出し受け入れられること
- ・挨拶や「いれて」「いいよ」「ありがとう」「ごめんなさい」等、場面に合った言葉を経験、獲得すること
- ・経験したことや気持ちを身近な大人に伝えること
- ・絵本やわらべうたなど、言葉の世界を広げること
- ・困ったときの対処、「てっだって」「おしえて」など一人一人の発達、特性に合わせ視覚支援（ジェスチャー含む）等、提供します

<認知・行動>

「たのしい」「じぶんでできた」「ほめられた」と、遊びに意欲的に参加できるようになり、達成感（自己肯定感を高める）を持てるようにします、その上で気持ちのコントロールや自ら切り替える力を養えるようにします

- ・着席すること・今、誰の話聞くのかを明確に理解して活動に取りくめるようにすること
- ・「ちょっと待つ」こと
- ・自己理解、他者理解し「だめなものはだめ」なことがあること
- ・苦手な活動もやってみること

～児童発達支援支援プログラム～

一人一人の発達、特性を見極め、小集団で個別支援計画(5領域)に沿った課題設定を行っています

こども支援センターキティ

<運動、感覚>

粗大、微細などさまざまな運動を取り入れて、体の感覚やバランス、力や声の加減、距離感、感触を養います。音楽あそび、ミュージックケアも行います。体や気持ちのコントロールも含まれます



たべること
ねること
はいせつ
あいさつ
みんなでいると「たのしい」
「じぶんでできた」
「てっだって」
「だめなものはだめ」
「ありがとう」
「ごめんなさい」

<人間関係、社会性>

SST（ソーシャルスキル）を取り入れ、小さな集団でルールやマナーを知って、他者と適切に関わった経験を持てるよう工夫します。着席、注目、指示にしたがった行動をする、他者の話にも耳を傾けるなど、社会に適応するために必要なスキルを身につけます、又、自分の感情を知ってイライラした時は自分でおさめていく方法を一緒に考えます。

